

贈りたい 本 大賞

—大切な人に贈りたい1冊—

大賞受賞作

令和3年度 やまなし読書活動促進事業

音楽や映画は、大勢の人と一緒に楽しむことができます。テレビもスポーツ観戦も、友だちと一緒に楽しむことができます。ところが、読書だけは、一人だけです。それが読書の良さでもあります。一人で読んでいたのでは、ほんとうに本を分かったことになるでしょうか。大好きなあの人は、この本を読んだらどんなことを考えるのだろうか。同じ本を読んでもらいたい。そうすれば、その本のことが深くわかるだけでなく、その人のことがもっと分かり合えるようになるのではないのでしょうか。

山梨県立図書館 館長 金田一秀穂



山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1

TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042

<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

令和3年11月10日発行

保育園のときの友だち

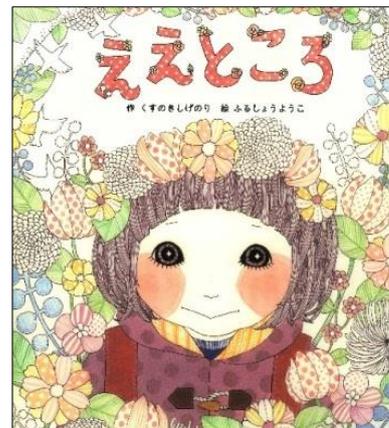
中学生以下の部

野々山 瑠夏 さん（増穂小学校）

『ええところ』

くすのき しげのり／作 ふるしょう ようこ／絵 学研

私は彼女とは仲よくない。でも後悔している。もっといっしょにいたかった。もう1度会いたいしあやまりたい。そんな気持ちの時、『ええところ』を読んだ。私も「ともちゃん」達のようにたがいのええところを見つけたかったと思う。その気持ちが伝わることそしてあやまりたいことがこの本で伝わればいいなと思ったから。



私の妹

高校生の部

遠藤 桃子 さん（甲府城西高校）

『わすれられないおくりもの』

スーザン・バーレイ／さく・え 小川仁央／やく 評論社

私たちの初めての身近な死はおじいちゃんでした。私の妹は未だにその事を思い出すと泣いてしまいます。この本では死んでしまった大切な人への悲しみをどう乗り越えるかが書かれていました。妹には大切な人の死を悲しむこと以上にその人との良い思い出を大切に心に残して、癒やしや励みにして欲しいなと思いました。



3. 11を知らない子どもたちへ

一般の部

林 真帆 さん

『おもかげ復元師の震災絵日記』

笹原 留似子／著 ポプラ社

東日本大震災から10年がたち、あの時小学6年生だった私は山梨で教師になった。地元・福島を離れても、当時の記憶や思いは鮮明に覚えている。今、教えているのはあの日生まれていない子どもたちだが、彼らにこの本を添えて未曾有の大地震のことを伝えたい。生きることの尊さを、生きている喜びをこの本から知ってほしい。



贈りたい本大賞 優秀賞

- 藤田 ひよりさん（山城小学校）「お母さん」『すてきな3K』（いとうみく／作 講談社）
- 吉澤 美織さん（若草小学校）「わたしの2さいの妹へ」『ゆびたこ』（くせさなえ／作 ポプラ社）
- 望月 咲良さん（双葉東小学校）「おばあちゃんへ」『だいじょうぶだいじょうぶ』（いとうひろし／作・絵 講談社）
- 藤原 麗菜さん（加納岩小学校）「お父さん」『モモ』（ミハエル・エンデ／作 岩波少年文庫）
- 内田 詩人さん（増穂小学校）「高橋そうた」『かあちゃん取扱説明書』（いとうみく／作 童心社）
- 津金 羽耶さん（甲陵中学校）「弟」『世界から猫が消えたなら』（川村元気／著 小学館文庫）
- 末廣 遥哉さん（田富中学校）「発言が苦手な人」
『教室はまちがうところだ』（時田晋治／作 子どもの未来社）
- 和智 穂乃香さん（やまびこ支援学校）「お母さん」『どうぞのいす』（香山美子／作 ひさかたチャイルド）
- 小池 和佳菜さん（北杜高校）「新しい人生を歩み出す祖父へ」
『ディズニーおもてなしの神様が教えてくれたこと』（鎌田洋／著 SBクリエイティブ）
- 遠藤 優花さん（韮崎高校）「戦争を知らない人々へ」『平和のバトン』（弓狩匡純／著 くもん出版）
- 小池 深月さん（韮崎工業高校）「成長期の弟」『雨がふっても・・・』（田村みえ／著 学研）
- 田中 柚衣さん（甲府西高校）「おばあちゃんへ」『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ／著 文春文庫）
- 今村 彩音さん（甲府東高校）「未来の我が子」『ちいさなあなたへ』（アリスン・マギー／ぶん 主婦の友社）
- 秋山 海恋さん（甲府城西高校）「一緒に看護師を目指している友だち」
『手紙屋』（喜多川泰／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン）
- 高瀬 こころさん（甲府昭和高校）「弟」『そして、バトンは渡された』（瀬尾まいこ／著 文春文庫）
- 高相 愛花さん（甲府昭和高校）「価値観に囚われ、息苦しい思いをしている人」
『水を縫う』（寺地はるな／著 集英社）
- 今村 由佳さん（青洲高校）「お姉ちゃんへ」『あつかったらぬげばいい』（ヨシタケシンスケ／著 白泉社）
- 佐藤 ななみさん（青洲高校）「母」『麦本三步の好きなもの』（住野よる／著 幻冬舎）
- 土屋 優楽さん（青洲高校）「部活の友達」
『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』（クルバウ／著 ダイヤモンド社）
- 坂田 風花さん（山梨高校）「高校生などの学生」
『私は私のままで生きることにした』（キム・スヒョン／著 ワニブックス）
- 植松 大貴さん（甲府商業高校）「兄」『チョコレート革命』（俵万智／著 河出書房新社）
- 鮫田 汐里さん（甲府商業高校）「高校生」『朔と新』（いとうみく／著 講談社）
- 佐野 美香子さん（一般）「娘たちへ」『はらぺこあおむし』（エリック＝カール／さく 偕成社）
- 飛田 英里さん（一般）「数学嫌いな生徒たちへ」
『とんでもなく役に立つ数学』（西成活裕／著 角川ソフィア文庫）
- 畠山 仁美さん（一般）「10歳になった息子へ」『子どものための哲学対話』（永井均／著 講談社文庫）
- 渡邊 真弓さん（一般）「天国のお母さん」『しぶがきほしがきあまいかき』（石川えりこ／さく・え 福音館書店）



学校賞

金田一秀穂館長賞 山梨県立青洲高等学校

甲府市立山城小学校 甲斐市立双葉東小学校 上野原市立秋山小学校

北杜市立長坂中学校 北杜市立甲陵中学校 中央市立田富中学校

山梨県立身延高等学校 山梨県立山梨高等学校

特別賞 岐阜県川辺町立川辺中学校



大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。
本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。

愛する人へ、大切な家族へ、かけがえのない友へ……。

もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、
どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数 4,281 点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。

さまざまな“想い”を、ありがとうございました。